

令和 8 年度

江北町一般会計・特別会計
事業説明書

佐賀県 江北町

目 次

I	一 般 会 計		
	総 務 政 策 課	1
	町 民 生 活 課	7
	健 康 福 祉 課	10
	地 域 づ く り 課	14
	こ ど も 教 育 課	32
II	無 資 力 臨 鉦 ポンプ等維持管理事業特別会計	39
III	下 水 道 事 業 会 計	41

一 般 会 計

總務政策課

(行政係・安全安心係・企画情報係)

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	4. 財産管理費	事項別	41
事業名	庁舎東側避難路及び駐車場整備事業					区分	新規
本年度当初予算額	16,715	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	16,715		町債		一般財源		16,715

1 事業の目的・概要

役場庁舎等の機能保全のため、屋上防水工事・外壁補修工事に係る設計を行う中で、工事施工に伴う安全対策や現場事務所の設置が必要であり、駐車場の一部が使用できず(71台中約30台分)、今以上に来庁者用駐車場が不足することが判明した。
このことを踏まえ、次年度以降に予定していた「防災機能強化のための整備事業」を前倒しして実施するもの。

◎防災機能強化のための整備事業 ⇒ 庁舎東側用地を取得、活用

- ①避難路の整備 : 土砂災害時の、人や車両等の避難路を確保する
- ②駐車スペースの拡張 : 有事の際に防災拠点となる庁舎の駐車スペースの確保と併せて、平時における来庁者用の駐車スペースを確保する

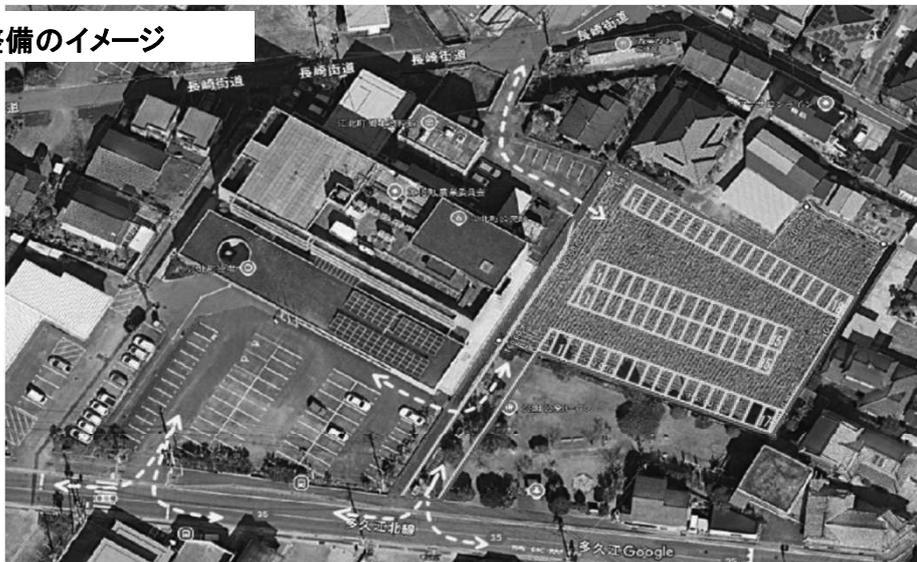
2 予算内訳

・支援業務委託料	4,433千円
・設計業務委託料	12,282千円
合計	16,715千円

3 今後のスケジュール

時期	内容
5月～9月末	測量設計業務委託
9月	用地取得費・工事費等の予算要求
10月～3月	工事

4 整備のイメージ



- ・道路幅員 6.0m
- ・駐車台数 65台

事業説明

[一般会計]

[総務政策課 政策班 安全安心係]

款	9. 消防費	項	1. 消防費	目	1. 非常備消防費	事項別	151～153
事業名	消防団第8部格納庫整備事業					区分	継続
本年度 当初予算額	44,977	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	2,240		県		その他		
差引増減	42,737		町債	44,000	一般財源		977

1 江北町消防団第8部消防格納庫建て替え工事

(1) 事業概要

江北町消防団第8部の格納庫は築60年以上経過し、老朽化が著しい現状であるため、消防施設の修繕計画に基づき建て替え工事を行う。また、江北町消防団第8部は団員数も35名と江北町消防団では一番多く、団員の十分な待機場所を確保するため、2階建てでの建て替えを行う。

2 主な予算内容

監理業務委託料 2,222千円
 工事請負費 42,680千円

3 スケジュール

時期等	内容
令和8年4月～5月	入札・契約
令和8年6月～10月	工事期間(5か月)

4 特定財源

緊急防災・減災事業債(町債) 44,000 千円



※現在の江北町消防団第8部格納庫

款	9. 消防費	項	1. 消防費	目	4. 災害対策費	事項別	155~157
事業名	災害備蓄品整備事業					区分	継続
本年度当初予算額	1,878	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	500		県		その他		
差引増減	1,378		町債		一般財源		1,878

1 事業の目的・概要

災害時における避難所生活環境等を整備するためのもので、佐賀県が策定している「県・市町の物資に関する連携備蓄体制整備要領」に定める想定避難者数が人口の5%となっている。
 保有備蓄の必要数量が令和8年度より1日分から3日分に変更されることに伴い、不足となる物資の補充を図る。

2 予算額

災害備蓄品購入費 1,878千円

3 令和8年度からの保有備蓄物資の購入数量

○物資の必要数量の算定式

想定避難者数(江北町の人口約9,550×5%=478人)×日当たり単位数量×3日分

品目	必要数量	保有数	不足数	購入数量	金額
①保存食(ごはん・パン) 478人×高齢者・乳幼児以外の割合(64%)×3食×3日分	2,754	1,232	1,522	1,600	767,800
②高齢者・幼児用保存食 478人×高齢者・乳幼児の割合(36%)×3食×3日分	1,549	960	589	600	181,500
③保存水(ℓ) 478人×3リットル×3日分	4,302	2,400	1,902	1,920	339,680
④使い捨て食器(セット) 478人×3セット×3日分	4,302	1,800	2,502	2,800	89,000
⑤災害時使用時補充分					500,000
合計額					1,877,980



保存食(一般)・保存水



保存食(高齢者、乳児)

事業説明

[一般会計]

[総務政策課 政策班 安全安心係]

款	9. 消防費	項	1. 消防費	目	4. 災害対策費	事項別	155~157
事業名	町ハザードマップ改訂事業					区分	新規
本年度当初予算額	5,973	本年度当初予算 財源内訳	国	2,000	(単位:千円)		
前年度当初予算額	-		県		その他	3,973	
差引増減	5,973		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

前回のハザードマップ改訂が平成30年であり、その後土砂災害警戒区域の追加や古川や惣領分川等の中小河川の浸水想定区域の指定が行われたこと、また令和8年雨期前に防災気象情報の見直しが行われるため、新たな情報を掲載したマップを作成し、地域における災害に対する備えの強化及び住民の災害時の避難や危険回避などの自主的な行動を支援することを目的とする。

2 スケジュール(予定)

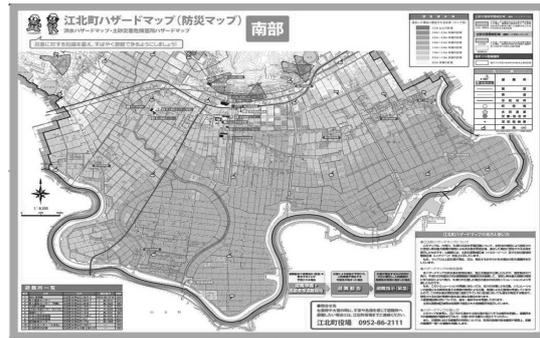
時期等	内容
令和8年5月	入札・契約
令和8年6月～11月	ハザードマップ作成
令和8年12月	印刷・納品
令和9年1月	各世帯配布

3 予算内訳

マップ作成委託料 5,973千円
(5,000部:A1版 両面フルカラー)

4 特定財源

防災・安全交付金(効果促進事業)(国) 2,000千円
ふるさと応援基金繰入金 3,973千円



事業説明

[一般会計]

[総務政策課 政策班 安全安心係]

款	9. 消防費	項	1. 消防費	目	4. 災害対策費	事項別	155～157
事業名	熱中症避難所開設事業費負担金					区分	継続
本年度当初予算額	4,556	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	1,344		県		その他		
差引増減	3,212		町債		一般財源		4,556

1 事業の目的・概要

町では熱中症を災害の一つと捉え、令和5年から熱中症避難所を開設している。
 熱中症による健康被害防止のため、各地区と協定を結び、集会所を指定暑熱避難施設に指定して熱中症警戒アラート等の発表日には対象施設を熱中症避難所として開設している。
 避難所開設時の空調使用にかかる電気量相当分を助成することで、各地区における熱中症対策を推進したい。

※環境省の熱中症警戒アラート等の運用期間は、毎年4月第4水曜日から10月第4水曜日まで

【開設日】

協定締結の日から熱中症警戒アラート等運用期間中で同アラートの発表日

※嚴重警戒期間(7月から9月)は常時開設可とする。

【開設時間】

午前10時から午後5時までの間

※嚴重警戒期間(7月から9月)は午前7時から午後7時まで延長可

2 予算内訳

(アラート等発表時開設) 1時間単価200円×7時間×5日×20箇所=140千円 } 計 4,556千円
 (嚴重警戒期間) 1時間単価200円×12時間×92日×20箇所=4,416千円

・熱中症搬送件数(5月から9月)

(単位:人)

搬送者数	全国	佐賀県	杵藤地区	江北町
令和7年	100,230	935	156	11
令和6年	97,578	1,083	190	14
令和5年	91,467	901	163	14

・熱中症アラート発表回数等(佐賀県)

時点	R7.9.30	R6.9.30	R5.9.30
熱中症アラート	37回	37回	19回
熱中症アラート初日	6月30日	7月30日	7月17日

・令和7年度避難所利用実績

令和7年	6月	7月	8月	9月	合計
避難所開設数(地区)	16	16	14	14	
上記避難所利用者数(人)	55	1,735	1,430	1,288	4,508
負担金額(円)	15,200	331,400	359,000	335,000	1,040,600

※令和6年度の避難所開設数は16地区

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	5. 企画費	事項別	43
事業名	町営タクシー事業(町営公共交通事業)					区分	継続
本年度 当初予算額	11,621	本年度 財源内訳 当初予算	国		(単位:千円)		
前年度 当初予算額	318		県		その他	960	
差引増減	11,303		町債	6,000	一般財源	4,661	

1 事業の目的

高齢の方で運転免許証返納や車を持っていないなどの理由により自ら移動手段を持たない方の日常生活の移動手段を確保するため、町営タクシーの運行を令和8年4月1日より開始する。

2 事業の概要

運行開始日 令和8年4月1日

項目	内容
対象者	・65歳以上で運転免許証を持たない方 ・65歳以上で車を持たない方
車両台数	軽自動車2台
利用料	片道1回 100円(燃料代など)
運行日時	平日:午前9時~午後4時 土曜日:午前9時~正午 ※運休日:祝日・日曜日・年末年始(12月29日~1月3日)
利用方法	事前登録・予約が必要
運行範囲	町内一円
利用目的	買い物、通院、金融機関、友人宅、サークル活動など
利用制限	原則月8回/人
運行業務委託	運転業務、オペレーター業務等

3 主な予算内訳

・運行業務委託料	8,499千円
・運転者等研修参加費	75千円
・車両借上料	1,320千円
・通信運搬費	410千円
・燃料費	307千円

4 特定財源

過疎対策事業債(町債)	6,000千円
町営タクシー利用料	960千円



町 民 生 活 課

(環境係・上下水道係)

款	4. 衛生費	項	1. 保健衛生費	目	3. 環境衛生費	事項別	109
事業名	SAGAゼロカーボン加速化事業					区分	新規
本年度当初予算額	4,920	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県	4,920	その他		
差引増減	4,920		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

町内における「脱炭素社会」の推進を図るため、「自家消費型太陽光発電設備」及び「蓄電池」の両方を導入する個人に対し、SAGAゼロカーボン加速化事業補助金を交付する。

○申請期間

令和8年4月下旬～令和8年10月30日(金)

※申請期間内であっても、上限件数に達した時点で受付を終了する。(先着順)

○補助対象者

町内に自己居住用の住宅へ新たに「太陽光発電設備」及び「蓄電池」を一体的に導入する個人

○補助対象設備

太陽光発電設備のみ	蓄電池のみ	太陽光発電設備+蓄電池
×	×	○

○注意事項

- ・交付決定前に事業着手(工事着工)した場合は対象外
- ・固定価格買取制度(FIT)※の場合は対象外

※固定価格買取制度(FIT)とは、再生可能エネルギーからつくられた電気を電力会社が「一定価格」で「一定期間」買い取ることを国が約束する制度。

2 予算内訳

区 分	補助単価	補助金(上限)	件数(上限)	予算額
太陽光発電設備	70 千円/kW	350 千円(5kwまで)	6 件	2,100 千円
蓄 電 池	47 千円/kW	470 千円(10kwまで)		2,820 千円
計	-	820 千円	6 件	4,920 千円

3 特定財源

SAGAゼロカーボン加速化事業補助金(県)

4,920 千円

款	4. 衛生費	項	3. 上水道費	目	1. 上水道施設費	事項別	115
事業名		水道量水器減径対策事業(公共施設の減径工事)				区分	新規
本年度 当初予算額	5,534	本年度 当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他		
差引増減	5,534		町債		一般財源		5,534

1 事業の目的・概要

佐賀西部広域水道企業団の水道料金が令和8年4月から改定され、新たに量水器の口径ごとに料金が設定される。今回の改定で、口径20mm以上の基本料金が大幅に値上げになることから、減径が可能な公共施設の量水器を減径することで水道料金の節減を図る。

2 予算内訳

水道量水器減径工事費 5,534千円

3 事業内容

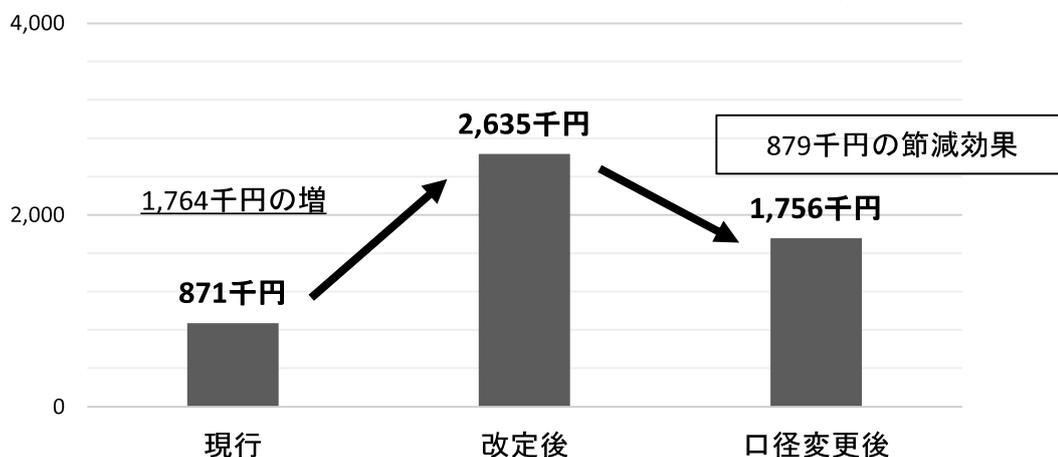
○対象施設 19施設

施設名	
白木パノラマ孔園	老人福祉センター別館
保健センター	小学校運動場トイレ
幼児教育センター	ゆうきの里加工所
みんなの公園	さわやかスポーツセンター
37cafe	ふれあい公園
だいちの家	佐留志集会所(下分)
直売所トイレ	惣領分集会所(江口・正徳)
花山球場	新宿集会所
こどもセンターうるる	石原集会所
江北駅トイレ	

※対象施設は、使用水量や用途などを勘案したうえで選定

○節減効果

対象19施設における年間水道料金の比較 単位:千円



款	4. 衛生費	項	3. 上水道費	目	2. 物価高騰支援事業	事項別	115
事業名		水道基本料金物価高騰支援事業				区分	新規
本年度当初予算額	19,579	本年度当初予算 財源内訳	国	19,579	(単位:千円)		
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	19,579		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

物価高騰の影響を受けている住民の生活や事業者の経済活動を支援するため、公共施設を除く町内の水道契約者を対象に水道料金のうち基本料金を減免する。

2 事業内容

<支援内容>

- ・水道料金の基本料金「4ヵ月分」を減免する。

基本料金		4ヵ月減免額	対象者割合
口径 13mm	1,056円	4,224円	96.1%
口径 20mm	2,101円	8,404円	2.5%
口径 25mm	4,257円	17,028円	0.7%
口径 30mm	6,336円	25,344円	0.1%
口径 40mm	10,978円	43,912円	0.4%
口径 50mm	17,281円	69,124円	0.1%
口径 75mm	41,074円	164,296円	0.1%

<支援対象者>

- ・水道契約者 4,020件 (公共施設を除く)

<減免スケジュール>

令和8年8月～令和8年11月使用分(4ヵ月分)

	R8.08	R8.09	R8.10	R8.11	R8.12	R9.01
使用	8月 使用分	9月 使用分	10月 使用分	11月 使用分	12月 使用分	1月 使用分
検針			10月 検針		12月 検針	
請求				11月減免 (8月・9月分 使用分)		1月減免 (10月・11月分 使用分)

※佐賀西部広域水道企業団の事務作業の関係から8月からの4ヵ月間の減免となる。

3 予算内訳

- ・佐賀西部広域水道企業団負担金 19,549 千円
- ・消耗品費 30 千円

4 特定財源

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(国) 19,579 千円

健康福祉課

(保健係)

款	4. 衛生費	項	1. 保健衛生費	目	1. 保健衛生総務費	事項別	99~101
事業名	新生児聴覚検査費用助成					区分	新規
本年度当初予算額	513	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	513		町債		一般財源		513

1 事業の目的・概要

佐賀県内の産科医療機関において、新生児聴覚スクリーニング検査を受ける体制を整備することで、耳の聴こえにくさを早期に発見し、早期支援を図ることを目的に、新生児聴覚スクリーニング検査に要する費用の全部または一部を助成する。

対象者	令和8年4月1日以降に生まれた児
対象となる検査	生後3日以内に行う初回検査及び、初回検査の結果要再検査となった場合の確認検査 <検査方法> 聴性脳幹反応検査(ABR)、自動聴性脳幹反応検査(AABR) または耳音響放射検査(OAE)のいずれか
助成内容	新生児1人につき 初回検査及び確認検査をそれぞれ、上限5,000円
実施方法	①母子手帳交付時に受診票を発行(1枚/人) ②医療機関にて新生児聴覚スクリーニング検査を受診 ※里帰り出産等で委託医療機関以外で受診した場合は償還払い

2 予算内訳

役務費(通信運搬費) 110円×70人=7,700円 ≒8千円
 ※令和7年度中に母子手帳を発行した者のうち、
 令和8年4月1日時点で出産していない者への通知郵送

 委託料 5,000円×90人=450千円(初回検査)
 5,000円×1人=5千円(確認検査)

 扶助費 5,000円×10人=50千円
 ※委託医療機関以外で受診した者への償還払い

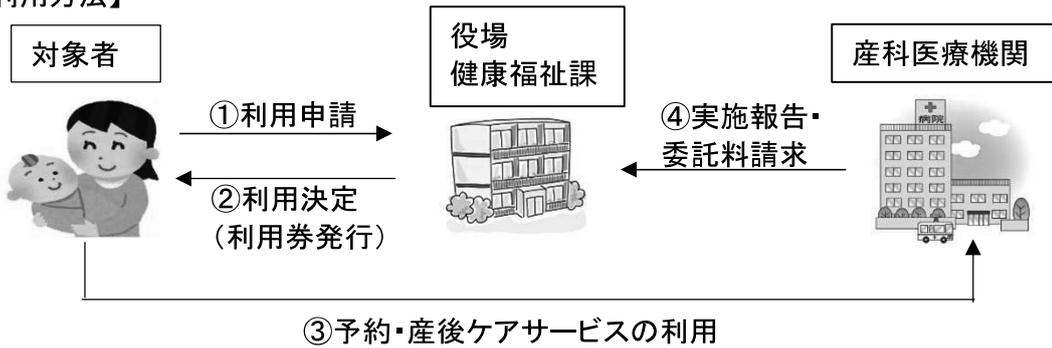
款	4. 衛生費	項	1. 保健衛生費	目	1. 保健衛生総務費	事項別	99~101
事業名	産後ケア事業					区分	新規
本年度当初予算額	668	本年度当初予算 財源内訳	国	333	(単位:千円)		
前年度当初予算額	-		県	166	その他		
差引増減	668		町債		一般財源	169	

1 事業の目的・概要

産後1年未満の産婦と子どもで、心身の不調等により育児に対して強い不安があり、育児困難がある方等に対し、産科医療機関でのデイサービスやショートステイを提供することで、育児相談や休養等の機会を提供し、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。

種類	デイサービス(通所型)	ショートステイ(宿泊型)
		日中、産科医療機関に通い心身のケアや育児サポート、休養の機会を提供
利用上限回数	デイサービス型とショートステイ型合わせて7日(泊)	
利用者負担額	無料 ※食事代は全額自己負担。その他着替えやオムツ等は持参	
主なサービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・母の身体的・心理的ケア、休息 ・授乳指導や沐浴等育児手技の支援 ・育児に関する相談や育児サポート 	

【利用方法】



2 特定財源

産後ケア事業補助金(国)	333千円
産後ケア事業補助金(県)	166千円

款	4. 衛生費	項	1. 保健衛生費	目	2. 予防費	事項別	105
事業名		RSウイルスワクチン予防接種				区分	新規
本年度 当初予算額	3,062	本年度 財源内訳 当初予算	国		(単位:千円)		
前年度 当初予算額	-		県		その他		
差引増減	3,062		町債		一般財源	3,062	

1 事業の目的・概要

RSウイルスは発熱や咳、鼻水の他、気管支炎や肺炎等の呼吸器の症状を呈する感染症で、初回感染時は、より重症化しやすく、特に生後6か月未満の乳児が感染した場合には重症化しやすいとされている。

令和8年4月1日から予防接種法に基づく定期接種に位置づけられ、妊婦に対しRSウイルスワクチンを接種することで、胎盤を通じて胎児に抗体を移行し、出生時から乳児におけるRSウイルスを原因とする感染症の発症予防及び重症化予防を図る。

対象者	妊娠28週から37週に至るまでの者
接種回数	1回
接種場所	佐賀県内の実施医療機関
自己負担額	無料
実施方法	①母子手帳発行時に予診票配布 ②接種希望者は佐賀県内の実施医療機関に直接予約し接種 ※里帰り等で委託医療機関以外で受診した場合は償還払い

2 予算内訳

役務費(通信運搬費) 110円×70人=7,700円 ≒7千円
 ※令和7年度中に母子手帳を発行した者のうち、
 令和8年4月1日時点で妊娠28週～37週のものへ通知郵送

委託料(予防接種委託料) 29,837円×100人=2,983,700円 ≒2,984千円
 (国保連合会事務処理委託料) 107円×100人=10,700円 ≒11千円

扶助費 29,837円×2人=59,674円 ≒60千円
 ※里帰り等で実施医療機関以外で接種した者への償還払い

各種検診・予防接種等に伴う自己負担額無償化

1 事業の目的・概要

物価高騰に直面している住民の負担を軽減するため、令和8年度においてがん検診・予防接種・特定健診における自己負担額を無償化とする。

2 予算内訳 事業費 …… 11,359 千円

自己負担額の無償化を行うことにより、これまで住民が負担していた各種検診・予防接種等の自己負担額を町が負担する。

がん検診

事項別 P.107

現行	自己負担額
【集団検診・施設検診】	
肺がん検診 (40～69歳)	200円
胃がん検診 (40～69歳)	1,000円
大腸がん検診 (40～69歳)	500円
子宮がん検診 (20～69歳)	1,000円
乳がん検診 (40～69歳)	1,000円
骨粗鬆症検診 (40・45・50・55・60・65歳女性)	600円
前立腺がん検診 (50～69歳)	600円
【個別医療機関】	
胃内視鏡検診 (50～68歳の偶数年齢)	3,000円
子宮がん検診 (20～69歳)	2,000円
乳がん検診 (40～69歳)	1,000円



令和8年度	
自己負担額全て無料	
〈事業費〉	1,792千円
〈特定財源〉	1,792千円

予防接種

事項別 P.105

現行	自己負担額
高齢者インフルエンザ (65歳以上の方)	1,500円
高齢者肺炎球菌 (65歳の方)	3,400円
新型コロナワクチン (65歳以上の方)	4,600円
帯状疱疹予防接種 (65・70・75・80・85)	2,500円 (生ワクチン)
(90・95・100歳の方)	6,500円 (不活化ワクチン)



令和8年度	
自己負担額全て無料	
〈事業費〉	9,351千円
〈特定財源〉	9,351千円

国保特定健診・若者健診

事項別 P.254

現行	自己負担額
【集団健診・施設健診】	
30～69歳国保被保険者	500円
【個別健診】	
30～69歳国保被保険者	1,000円



令和8年度	
自己負担額全て無料	
〈事業費〉	216千円
〈特定財源〉	216千円

3 特定財源

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(国)

11,359 千円

地 域 づ く り 課

(管理振興係・農政係・農地防災係・基盤整備係)

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	5. 企画費	事項別	45
事業名	ふるさと納税推進事業費					区分	継続
本年度当初予算額	679,910	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	733,794		県		その他	679,910	
差引増減	△ 53,884		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

ふるさと納税制度を通じて町特産品の魅力を知ってもらい、事業者や特産品のファンを増やしなが、町の取組みに共感し、応援してくれる人との繋がりを高めるとともに、地方創生の取組みに必要な財源を確保する。

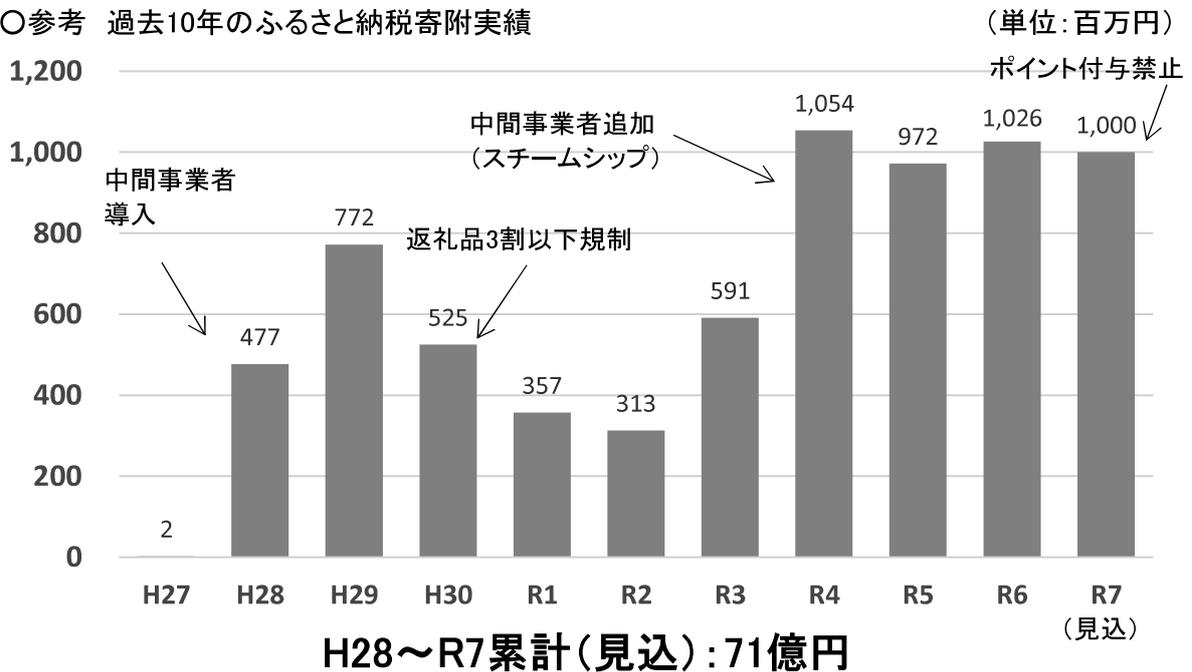
寄附額増のための主な取組

- ・新たな返礼品の造成および新規返礼品提供事業者の開拓
- ・検索連動型広告等の費用対効果が高い広告の実施



目標寄附額10億円の達成

○参考 過去10年のふるさと納税寄附実績



2 主な予算内訳

役務費	ポータルサイト掲載手数料外	110,201 千円
委託料	ふるさと納税業務委託料(さとふる・スチームシップ)外	568,424 千円

3 特定財源

ふるさと応援寄附金	679,910 千円
-----------	------------

令和8年度当初予算における
主なふるさと応援基金繰入金(ふるさと納税)充当事業

(千円)

事業名	事業費	充当額
安全安心なまちへ		
災害対策事業(ハザードマップ作成)	5,973	3,973
総合排水計画ゲート電動化事業	4,400	4,400
住みよい福祉のまちへ		
重度心身障がい者医療費助成事業	18,840	996
ひとり親家庭等医療費助成事業	5,559	611
子どもの医療費助成事業	36,874	21,444
こどもが元気に育つまちへ		
学校交流事業	17,453	15,053
小学校管理費(プール改修工事)	18,931	18,931
学校給食費助成事業	58,014	23,866
活力あるまちへ		
商工振興費(地域活性化補助金)	5,000	5,000
高齢者祝金事業	6,957	6,957
その他	24,540	22,345
合計	202,541	123,576

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	5. 企画費	事項別	45～47
事業名	駅の賑わい創出事業 (江北駅・コンテナショップ「エキ・キタ」活性化事業)					区分	新規
本年度 当初予算額	1,000	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他	130	
差引増減	1,000		町債		一般財源	870	

1 事業の目的・概要

(目的)

江北駅北口の賑わい創出を図るため、コンテナショップ「エキ・キタ」を核とし、観光列車「ふたつ星4047」おもてなしや月がわりイベントを開催し、江北駅及びコンテナショップ「エキ・キタ」の魅力発信・認知度向上を行うことにより、関係人口創出・拡大を図る。

(計画)

・常設イベント

江北駅:観光列車「ふたつ星4047」おもてなし(手振り旗・町マスコットキャラクター)

・月替わりイベント

月	イベント名	内容
4月	「エキ・キタ」お花見ウォーキング	エキ・キタ～桜山公園ウォーキング(桜餅ふるまい)
5月	「エキ・キタ」お母さんの休日	ネイル・マッサージ無料体験
6月	「エキ・キタ」名物ひとつんげ①	トレインビューよりお菓子撒き(子供向け)
7月	「エキ・キタ」祇園祭り	地元祭りとタイアップ 流しソーメン ※夜イベント
8月	「エキ・キタ」Eスポーツ王決定戦	トレ裏白壁活用Eスポーツ ※夜イベント
9月	「エキ・キタ」十五夜鑑月会	100円ビアガーデン・音楽フェス ※夜イベント
10月	「エキ・キタ」ハロウィン・秋の収穫祭	ピニャータ・町内訳アリ農産物100円販売会
11月	「エキ・キタ」名物ひとつんげ②	トレインビューよりお菓子撒き(子供向け)
12月	「エキ・キタ」クリスマスパーティー	サンタコスプレ(プレゼント配布)クリスマスツリー展示
1月	「エキ・キタ」もちつき大会	もちつき体験・お振舞い
2月	「エキ・キタ」ほっこりぜんざい会	ぜんざいお振舞い
3月	「エキ・キタ」ひな祭りのり巻き会	エキ・キタ中庭に20個のり巻きを制作(単費)

※イベント名・内容は、協力団体との協議により、変更する場合があります。

・ターゲット

駅利用者・町民・町外からの誘客

・集客目標

目標:各月100人 100人×12月=1,200人

2 予算内訳

需用費	食材・飲料代、農産物調達費、手振り旗制作等	460 千円
報償費	出店料、協力団体協力金	260 千円
委託料	音響・照明設営・MC委託料	180 千円
使用料及び賃借料	流しソーメン器具・eスポーツ器具レンタル料	100 千円
計		1,000 千円

3 特定財源

販売売上金

130 千円

款	8. 土木費	項	4. 都市計画費	目	1. 公園費	事項別	145～147
事業名	みんなの公園交流棟デッキ・柱塗装研磨工事					区分	新規
本年度当初予算額	3,508	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他	3,508	
差引増減	3,508		町債		一般財源		

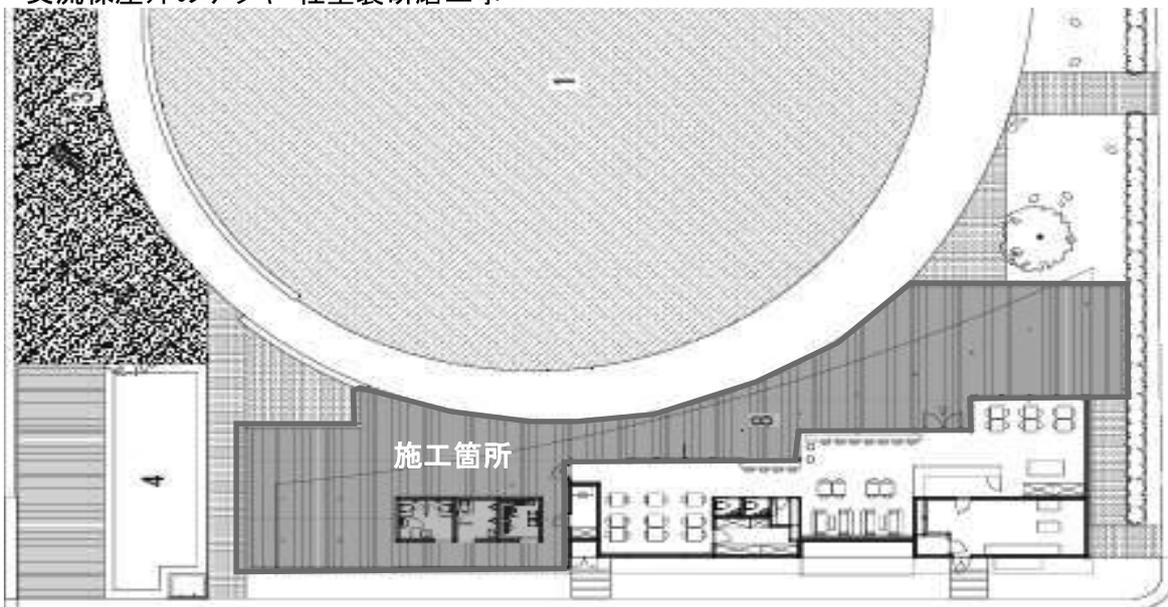
1 事業の目的・概要

(目的)

みんなの公園は、令和元年にオープンし7年が経過、交流棟屋外のデッキ・柱は日光や風雨にさらされ、塗装のはがれ・カビが発生していることから、塗装・研磨を行うことにより、利用者が快適に利用できる環境を整備し、交流の場や憩いの場としての機能向上を図る。

(概要)

交流棟屋外のデッキ・柱塗装研磨工事



(現状)

デッキ(カビ・ささくれ)



デッキ(縁の損傷)



交流棟柱(カビ)



トイレ格子(カビ)



2 予算内訳

工事請負費

3,508 千円

3 特定財源

ふるさと応援基金繰入金

3,508千円

款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	141
事業名	公共施設等適正管理推進事業					区分	新規
本年度当初予算額	29,500	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	22,000		県		その他		
差引増減	7,500		町債	29,000	一般財源		500

1 事業の目的・概要

(目的)

ひび割れ・わだち掘れなど、舗装面の老朽化が進む町道を計画的に補修し、道路の安全性及び交通の円滑化を図る。

当事業は、平成30年3月に策定した「舗装の個別施設計画」に基づき、診断結果を踏まえ、破損の状況に応じて補修を行っている。

【計画路線:22路線 完了:12路線 R8実施:2路線 残路線:8路線】

(概要)

① 町道岳～白木線舗装補修工事(補修延長:L=550m) 工事請負費 27,600千円

(位置図)



(現状)



② 町道上小田～白木線補修工事(補修延長:L=44m) 工事請負費 1,900千円

(位置図)



(現状)



2 特定財源

過疎対策事業債(町債)

29,000千円

款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	141
事業名	通学路交通安全対策事業					区分	継続
本年度当初予算額	12,870	本年度当初予算 財源内訳	国	6,821	(単位:千円)		
前年度当初予算額	27,500		県		その他		
差引増減	△ 14,630		町債	4,800	一般財源	1,249	

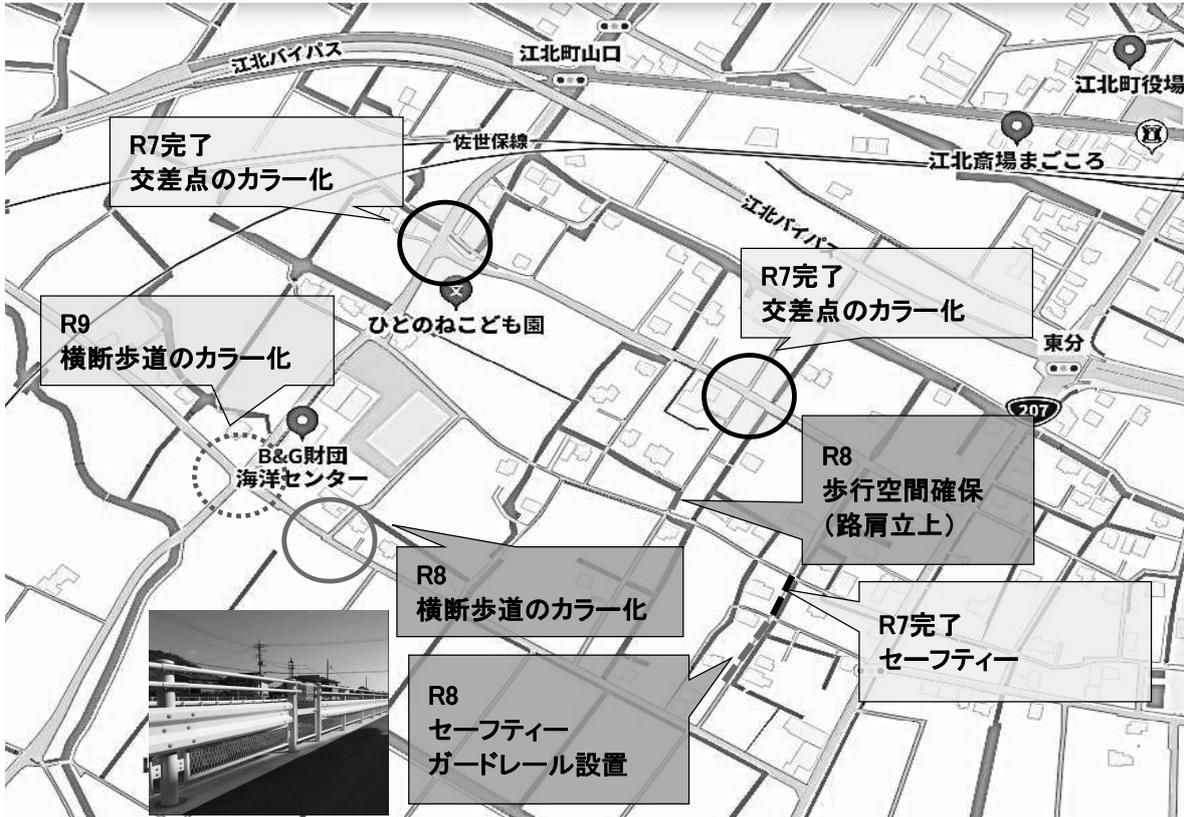
1 事業の目的・概要

(目的)

歩行空間の確保・自動車からの視認性の向上・水路への転落防止等の対策を行うことにより、登下校中の児童・生徒の安全確保を図る。

当事業は、令和5年度に実施した通学路合同点検で指摘があり、令和7年度から9年度の3年間で実施している。

(概要)



2 予算内訳

工事請負費

12,870 千円

3 特定財源

社会資本整備総合交付金(通学路交通安全対策交付金)(国)

6,821 千円

過疎対策事業債(町債)

4,800 千円

款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	141～143
事業名	道路維持管理費					区分	継続
本年度当初予算額	45,221	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	52,245		県		その他	2,277	
差引増減	△ 7,024		町債	13,000	一般財源	29,944	

1 事業の目的・概要

(目的)

町道除草、法面保護、街路樹維持管理、支障木撤去、側溝清掃、道路照明LED化など、包括的な維持管理を行うことにより、道路や周辺環境の安全性向上・機能維持を図る。

令和8年度は、① 町道の除草回数増(不法投棄対策)、② 地元要望による町道補修・法面对策等に重点的に取り組む。

(概要)

① 町道の除草回数増(不法投棄対策)

委託先	路線	令和8年度変更点
業者	畑川～電車道線外1路線 A=1,660㎡	除草回数 年2回→年4回に増 (不法投棄対策)
上区	石原～電車道線外1路線A=2,490㎡	
花祭G	白木～花祭2号線A=4,080㎡	

② 地元要望による町道補修・法面对策等

②-1 町道岳～白木2号線法面对策工事 (L=59m・張りコンクリート) 1,875 千円
(位置図) (現状)



②-2 町道畑川～電車道線雑木伐採工事 (3,500㎡) 1,200 千円
(位置図) (現状)



②-3 町道畑川～電車道線法面对策工事（上区トンネル上部・防草シート 399 千円
 (位置図) (現状)



②-4 町道平山村内2号線擁壁修繕工事 (L=8m) 1,610 千円
 (位置図) (現状)



2 主な予算内訳

委託料	町道除草委託料外	13,014 千円
工事請負費	道路維持管理工事外	27,084 千円

3 特定財源

過疎対策事業債(町債)	13,000 千円
道路占用料	2,277 千円

款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	143
事業名	緊急自然災害防止対策事業					区分	新規
本年度当初予算額	8,786	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	4,100		県		その他		
差引増減	4,686		町債	8,600	一般財源		186

1 事業の目的・概要

(目的)

地域住民が安全に暮らせる住環境を整備するため、道路法面・盛土の土砂災害防止対策を実施し、災害の発生予防や拡大防止を図る。

(概要)

① 町道畑川～電車道線擁壁改修設計(延長:L=17m) 設計委託料 6,100千円

(位置図)



(現状)



② 町道平山中央線法面对策工事(延長:L=14m)

工事請負費 2,686千円

(位置図)



(現状)



2 特定財源

緊急自然災害防止対策事業債(町債)

8,600千円

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	3. 農業振興費	事項別	123
事業名	新規就農者育成総合対策事業					区分	継続
本年度当初予算額	5,937	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	15,000		県	5,937	その他		
差引増減	△ 9,063		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

【経営発展支援事業】

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援するもの。

支援対象者	対象経費	支援額 (補助率)
認定新規就農者 (就農時49歳以下)	○農業機械、施設の導入 ○家畜導入 ○果樹等の新植、改植 ○機械等のリース料 等	事業費上限10,000千円 国1/2、県1/4 自己負担1/4

※経営開始資金事業の交付対象者は事業費上限額5,000千円

【経営開始資金事業】

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し、早期の経営確立を支援する資金を交付するもの。

支援対象者	交付要件	支援額 (期間)
認定新規就農者 (就農時49歳以下)	○農業で生計が成り立つ実現可能な就農計画を立てること ○地域計画に位置付けられていること 若しくは、中間管理機構から農地を借り受けていること 等	12.5万円/月(150万円/年) 最長3年間

2 予算内訳

【経営発展支援事業】

(千円)

対象者	対象経費	事業費	負担区分		
			国費(1/2)	県費(1/4)	自己負担(1/4)
A氏 (イチゴ)	予冷库設備・常温煙霧機・動噴一式	3,920	1,959	978	983
合計		3,920	1,959	978	983

【経営開始資金事業】

(千円)

対象者	対象経費	事業費	負担区分		
			国費(10/10)	県費	自己負担
A氏 (イチゴ)	早期の経営確立を支援する資金(R8~10)	1,500	1,500	-	-
B氏 (キュウリ)	早期の経営確立を支援する資金(R7~9)	1,500	1,500	-	-
合計		3,000	3,000	-	-

3 特定財源

新規就農者育成総合対策事業交付金(県)

5,937 千円

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	3. 農業振興費	事項別	123
事業名	さかの稼げる水田農業推進事業					区分	継続
本年度 当初予算額	3,297	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県	2,536	その他		
差引増減	3,297		町債		一般財源		761

1 事業の目的・概要

担い手の経営基盤の強化と効率的で安定的な生産体制の確立を図るため、担い手が取り組む低コスト化・高品質化のための革新技術の導入等に必要な機械・施設の整備を支援する。

区分	支援対象	補助メニュー	補助率
低コスト・高品質化 条件整備	○集落営農法人 ○集落営農組織	○水田直播用機械 ○レーザーレベラー ○大豆コンバイン ○大豆不耕起播種機 ○トラクターカルチ ○自動操舵システム ○トラクター ○田植機 ○コンバイン	標準 事業費の 県1/3 町1/10

2 予算内訳

(千円)

事業主体	事業内容	総事業費	標準事業費	負担区分		
				県費 (1/3)	町費 (1/10)	自己 負担
D集落 営農組合	大豆コンバイン キャビン付き	11,217	7,609	2,536	761	7,920

3 特定財源

さかの稼げる水田農業推進事業費補助金(県)

2,536 千円

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	3. 農業振興費	事項別	123
事業名	新規就農支援事業(町単独事業)					区分	継続
本年度 当初予算額	1,043	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	1,516		県		その他	1,043	
差引増減	△ 473		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

江北町に住民登録され、次世代を担う農業者となることについての強い意欲を有する新規就農者(予定者を含む。)に対し、家賃補助・経営補助を行うことにより、地域農業者の育成・確保を図るもの。

対象事業	対象経費	補助率	対象者・期間等
家賃 支援事業	江北町内に物件を有する賃貸・戸建て住宅の家賃(敷金・礼金・共益費を除く。)	10/10 ただし、月額5万円を限度とする	新規就農者育成総合対策の就農準備資金の交付を受けている者は24月。経営開始資金の交付を受けている者と就農1年目の認定新規就農者は12月を上限とする。
経営 支援事業	農業生産資材購入費や井戸・暗渠等の基盤整備費、車両・備品等の購入費で、国県補助事業の対象とならない経費	10/10 ただし、100万円を限度とする	1回限り

2 予算内訳

①「家賃支援事業」

(千円)

対象者	就農地	品目	対象経費	補助額
B氏	門前 (園芸団地)	施設キュウリ	43,000円×1ヶ月(R8.4月まで)	43

②「経営支援事業」

(千円)

対象者	就農地	品目	対象経費	補助額
A氏	正徳	施設イチゴ	営農開始に必要な生産資材等	1,000

①+②合計 1,043 千円

3 特定財源

ふるさと応援基金繰入金

1,043 千円

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	4. 園芸振興費	事項別	125
事業名	さが園芸888整備支援事業					区分	継続
本年度当初予算額	6,551	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	28,442		県	5,641	その他		
差引増減	△ 21,891		町債		一般財源		910

1 事業の目的・概要

農業者が行う園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備に要する経費の補助を行うことにより、農業所得向上に向けた収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減などを図ることができる。

2 予算内訳

① 新規就農者(県補助率60%) 園芸産地強化・整備支援事業(重点支援地方交付金) (千円)

事業主体	事業内容	事業費	負担区分		
			県費 (60%)	町費 (5%)	自己負担
A氏 (施設イチゴ)	ファインパッカー	4,034	2,420	202	1,412
	生産資材 (県上限1,200千円)	2,233	1,200	100	933
合計		6,267	3,620	302	2,345
合計			3,922		

② 認定農業者(県補助率1/3) さが園芸888整備支援事業 (千円)

事業主体	事業内容	事業費	負担区分		
			県費 (1/3)	町費 (1/10)	自己負担
C氏 (タマネギ)	ドローン	4,664	1,554	467	2,643
	デガー	1,402	467	141	794
合計		6,066	2,021	608	3,437
合計			2,629		



3 特定財源

さが園芸888整備支援事業費補助金(県)

5,641 千円

総括表

【農政関係補助事業-経営支援・機械・設備・資材】

区分	事業	新規就農者 育成 総合対策	さが園芸888 整備支援 事業	さかの稼げる 水田農業 推進事業	新規就農 支援事業	計
	事業説明書	P.123	P.125	P.123	P.123	
	財源	(国・県)	(県・町)	(県・町)	(町)	
	対象	農業機械 施設導入等 早期の経営 確立	農業機械 生産資材等	低コスト 高品質化 条件整備	家賃・国県 事業対象外 経費	
A氏 施設イコ 新規就農者	事業費	5,420	6,267	-	1,000	12,687
	補助額	4,437	3,922	-	1,000	9,359
	自己負担	983	2,345	0	0	3,328
B氏 施設キュウ 新規就農者	事業費	1,500	対象外	-	43	1,543
	補助額	1,500		-	43	1,543
	自己負担	0		0	0	0
C氏 米・麦・大豆 タマネギ 認定農業者	事業費	-	6,066	-	-	6,066
	補助額	-	2,629	-	-	2,629
	自己負担	0	3,437	0	0	3,437
D組合 米・麦・大豆 集落営農 組織	事業費	-	-	11,217	-	11,217
	補助額	-	-	3,297	-	3,297
	自己負担	0	0	7,920	0	7,920

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	127
事業名	農村公園維持管理費（白木パノラマ・桜山公園整備）					区分	新規
本年度当初予算額	5,992	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他	4,243	
差引増減	5,992		町債		一般財源	1,749	

1 事業の目的・概要

(目的)

農村公園に附随する施設や設備・遊具等の整備・修繕を行い、利用者が快適に利用できる環境を整備し、交流の場や憩いの場としての機能向上を図る。

(概要)

【白木パノラマ公園】



保管庫
草刈機携行缶用

【桜山公園】



2 予算内訳

需用費	(遊具修繕)	1,595 千円
工事請負費	(法面補修・パーテーション)	4,243 千円
備品購入費	(保管庫)	154 千円
計		5,992 千円

3 特定財源

ふるさと応援基金繰入金	4,243 千円
-------------	----------

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	127
事業名	農道・水路管理費					区分	新規
本年度 当初予算額	1,500	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他		
差引増減	1,500		町債		一般財源		1,500

1 事業の目的・概要

(目的)

雨水による浸食や崩壊で崩れた農道路肩の欠損は、農業機械の転落・脱輪事故や、さらなる土砂流失による災害を引き起こす可能性があり、補修を行うことで、農道通行の安全性向上を図る。

(概要)

農道下分6号線路肩補修工事(補修延長:L=50m)

(位置図)



(現状)



2 予算内訳

工事請負費	農道下分6号線路肩補修工事	1,500 千円
-------	---------------	----------

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	127
事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業					区分	継続
本年度 当初予算額	6,820	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	5,500		県	4,340	その他	2,046	
差引増減	1,320		町債		一般財源	434	

1 事業の目的・概要

(目的)

既存の農業用水利施設を長く使い続けるため、劣化状況を診断・予測し、適切な時期・方法で補修・更新を行うことにより、施設寿命の延伸や機能維持、ライフサイクルコストの縮減を図る。

(概要)

町全域で要望を取りまとめ、町が施設の機能診断を行い、緊急性等を考慮し、機能保全計画を作成する。

【江北3期】対策として3年間(R6~R8)で実施し、多面的機能支払交付金(資源向上支払:施設の長寿命化)と重複しないよう、地元と協議・調整を図っている。

2 予算内訳

(千円)

実施箇所	R8年度 予算額	負担割合			
		国 55%	県 15%	受益者 30%	町 補助対象外経費
草場ため池 斜樋	4,400	2,200	600	1,320	280
大谷ため池 横滑弁	1,210	605	165	363	77
椿郷ため池 横滑弁	660	330	90	198	42
佐留志4号制水門 開閉器オーバーホール	550	275	75	165	35
計	6,820	3,410	930	2,046	434



3 特定財源

地域農業水利施設ストックマネジメント事業補助金(県) ※国庫含む 4,340 千円
 地域農業水利施設ストックマネジメント事業受益者分担金 2,046 千円

4 その他

【江北4期】対策(R9~R11)の要望量調査…区長・水利組合代表・多面機能支払代表に依頼済 (R8.2.27まで)

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	131
事業名	総合排水計画促進事業(ゲート電動化)					区分	継続
本年度当初予算額	4,400	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他	4,400	
差引増減	4,400		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

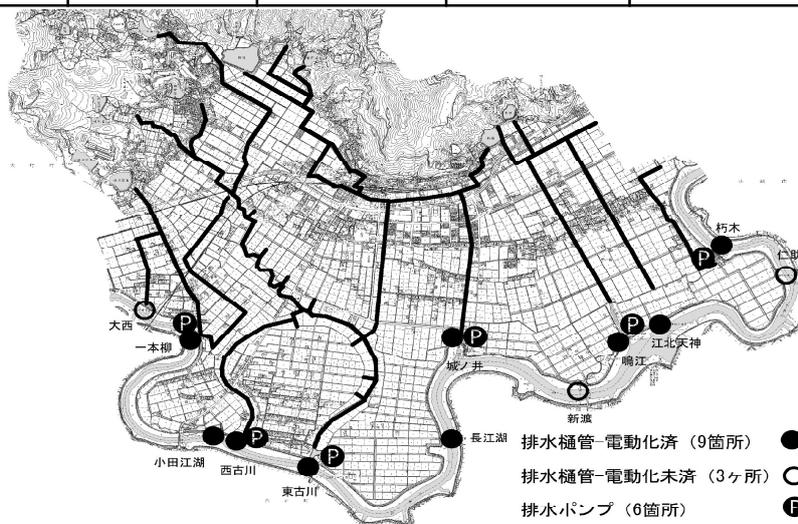
(目的)

事前落水要請時に操作するゲートの電動化により、町内4水系の河川・幹線水路・農業用水路の事前落水を円滑に行うことで、浸水被害の軽減を図る。

(概要)

令和7年度は、白石町の事業者1社のみが設置可能であったが、8年度は新たに町内3事業者を確保したため、操作回数の多い樋管の直近で、電動化が済んでいない3ヶ所を含め、4水系(箇所付けは、「排水対策連絡会」で決定)の合計8ヶ所を実施する。

区分	畑川水系	古川水系	佐留志水系	惣領分水系	計
水路延長	4.3km	10.1km	9.2km	5.7km	29.3km
電動化済	3ヶ所 (整備率:15%)	3ヶ所 (整備率:10%)	2ヶ所 (整備率:5%)	4ヶ所 (整備率:9%)	12ヶ所 (整備率:9%)
電動化未済	17ヶ所	29ヶ所	35ヶ所	43ヶ所	124ヶ所
計	20ヶ所	32ヶ所	37ヶ所	47ヶ所	136ヶ所
樋管直近 (電動化済)	2ヶ所 (一本柳・小田江湖)	3ヶ所 (西古川・東古川・長江湖)	1ヶ所 (城ノ井)	3ヶ所 (鳴江・江北天神・朽木)	9ヶ所
樋管直近 (電動化未済)	1ヶ所 (大西)	-	-	2ヶ所 (新渡・仁助)	3ヶ所



2 予算内訳

工事請負費

4,400 千円

3 特定財源

ふるさと応援基金繰入金

4,400 千円

こども教育課

(子育て支援係・学校教育係・生涯学習係)

款	3. 民生費	項	2. 児童福祉費	目	2. 児童措置費 3. 保育園費	事項別	87 91
事業名	乳児等通園支援事業					区分	新規
本年度 当初予算額	1,991	本年度 財源内訳 当初予算	国	1,467	(単位:千円)		
前年度 当初予算額	-		県	244	その他	76	
差引増減	1,991		町債		一般財源	204	

1 事業の目的・概要

生後6か月から満3歳未満で保育所などに通っていないこどもを育てている家庭が、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付として、「こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)」が令和8年4月から始まるため、その給付費を支弁する。

項目	内容
対象者	保育所等に通っていない生後6か月から満3歳未満のこども
利用上限	一人あたり月10時間まで
利用料	1時間あたり300円程度を標準として、事業者が設定
実施施設	市町村が認可した施設(一時預かり施設を除く。)
実施区分	一般型 : 専用室または専用枠を設けて実施 余裕活用型: 既存施設の空き定員を活用して実施
職員配置	一時預かり事業と同様の基準

2 予算内訳

乳児等通園支援事業の実施に要する人件費及び物件費に対して給付等を行う。国及び県の乳児等支援給付費を財源とし、国6/8・県1/8の負担割合となる。

・民間保育所等運営委託事業(乳児等通園支援給付費負担金)

対象施設	事業費
永林寺保育園 江北ひかりこども園 ひとのねこども園 小規模保育所なのはな ニチイキッズこうぼく保育園	1,630千円

・乳児等通園支援事業(江北保育園分)

対象施設	事業費
江北保育園	361千円

3 特定財源

乳児等支援給付費(国)	1,467千円
乳児等支援給付費(県)	244千円
乳児等通園支援事業保護者負担金	76千円

款	3. 民生費	項	2. 児童福祉費	目	5. 子育て支援費	事項別	95
事業名	放課後児童健全育成事業					区分	継続
本年度 当初予算額	23,926	本年度 当初予算 財源内訳	国	7,974	(単位:千円)		
前年度 当初予算額	5,997		県	7,974	その他		
差引増減	17,929		町債		一般財源	7,978	

1 事業の目的・概要

女性の就業割合の高まりや核家族化の進行等を背景として放課後児童クラブの利用ニーズが高まっていることから、放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所の確保を目的として、令和6年度から民間の放課後児童クラブに対して補助を行っている。令和8年度は、利用希望者が30人程度増加したことから放課後児童クラブひとの舎の支援単位を1支援増やす。

2 予算内訳

放課後児童クラブ事業補助金

対象施設	事業費 (上:R7予算現額) (下:R8当初予算計上額)	支援単位 (上:R7) (下:R8)	対象経費
放課後児童クラブ ひとの舎	11,879千円	1支援	人件費 物件費 送迎支援費
	23,926千円	2支援 (計画)	

※利用定員は1支援単位あたり40人程度を目安とし、居室面積基準(1人あたり1.65㎡以上)に準じて設定。

3 特定財源

子ども・子育て支援交付金(国)	7,974千円
子ども・子育て支援事業費補助金(県)	7,974千円

款	10. 教育費	項	1. 教育総務費	目	2. 事務局費	事項別	161
事業名	学校交流事業					区分	継続
本年度当初予算額	17,453	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	951		県		その他	17,453	
差引増減	16,502		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

多様な文化や価値観を認めあう国際性・創造性豊かな子どもを育てるため、平成30年度に中学生をオーストラリアの学校へ派遣し、令和元年度には相手校の学生を受け入れることで交流を行ってきた。

令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により対面での交流ができなかったが令和5年度に派遣、受入れの交流を再開し、令和7年度に受入れを行った。

令和8年度はオーストラリアへ交流団派遣を行い、子どもたちに貴重な経験を積ませたい。

交流相手:エンカウンター・ルーサラン・カレッジ(オーストラリア 南オーストラリア州)

交流内容:相手校の授業に参加、ホストファミリーとの交流、異文化の体験

交流日程:8月11日(火)～17日(月)4泊7日

交流団員:中学1年生～3年生 16名、引率 5名

2 予算内訳(主なもの)

事前研修講師謝金	50千円
交流団派遣事業業務委託料	17,330千円

3 特定財源

学校交流事業参加負担金	2,400千円
ふるさと応援基金繰入金	15,053千円

前回派遣(令和5年度)



前回受入(令和7年度)



【事業説明】 [一般会計]

[こども教育課 学校教育係]

款	10. 教育費	項	2. 小学校費 3. 中学校費	目	1. 学校管理費 1. 学校管理費	事項別	165~167 171~173
事業名	小・中学校施設修繕事業(5年計画)					区分	継続
本年度 当初予算額	157,015	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他	20,843	
差引増減	157,015		町債	130,000	一般財源	6,172	

1 これまでの経過

令和7年度より、小・中学校施設修繕工事を5年計画で実施、令和7年度においては、当該年度計画工事に加え、令和8年度予定の工事のうち緊急度の高い工事を一部前倒しで行った。

【小学校】

令和7年度 ・ 実施工事数 ⇒ 13工事 (うち2工事は修繕、1工事はLEDリース)



R7年度10月補正にて、入札残等の9,000千円の予算を
小学校から中学校へ付け替え

【中学校】

令和7年度 ・ 実施工事数 ⇒ 1工事 (当初予定工事)
5工事 (10月補正後、R8年度計画前倒し追加分)

2 事業内容(改修内容及び予算額)

令和8年度についても、引き続き計画に基づき工事を進めるとともに、工事内容の統合も含め、積極的に計画の前倒しを検討しながら事業の進捗を図り、学校施設の改修を行う。

【小学校】

工事名	計画年度	予算額	
プール改修工事	R8年度	工事請負費	18,931千円
教室・廊下改修工事	R8年度～ R10年度	委託料 設計・支援業務	11,662千円

※R9～R10年度計画工事を含む4工事を統合(複数年工事を予定)

【中学校】

工事名	計画年度	予算額	
天井防水、軒天、屋外階段 改修工事	R8年度	委託料 設計・支援業務等	14,001千円
		工事請負費	108,459千円
正門更新工事	R8年度	工事請負費	1,912千円
LED照明器具賃貸借【10年リース】	R8年度	賃借料	2,050千円

3 特定財源

過疎対策事業債(町債) 130,000千円
ふるさと応援基金繰入金 20,843千円

款	10. 教育費	項	2. 小学校費	目	2. 教育振興費	事項別	169
事業名	江北小学校GIGAスクール整備事業					区分	継続
本年度当初予算額	60,231	本年度当初予算 財源内訳	国	34,745	(単位:千円)		
前年度当初予算額	-		県		その他	25,400	
差引増減	60,231		町債		一般財源	86	

1 事業の目的

小学校において令和2年度に導入したタブレット端末を更新、WindowsからChromeへ変更。また、令和3年度に整備したネットワーク環境については、令和7年度に現状調査を実施し、その結果を踏まえて1G通信を2G通信へのアップグレードを行い、通信環境の改善を図る。既存端末は国が適切に処分を行う。

2 事業の概要

スケジュール 令和8年2月: 県の共同調達、プロポーザルにより選定業者決定
 令和8年4月: 選定業者との仮契約→令和8年6月: 議会終了後、本契約
 令和8年7月末: 端末納入・初期設定・教員の研修
 令和8年10月: 運用開始予定

3 予算内訳

(千円)

小学校	単価	台数	計	備考
端末	55	724	39,820	児童592台、教員43台、予備機89台(6年分)
初期設定	8	724	5,792	児童592台、教員43台、予備機89台(6年分)
小計			45,612	
その他	フィルタリングソフト		1,331	1,980円×672台
	GoogleGIGAライセンス		6,209	9,240円×672台
	タッチペン		3,620	5,000円×724本
	持ち帰りバッグ		1,394	2,277円×612個
	光ケーブル工事		304	
	既存端末の処分料		1,761	3,000円×587台
小計			14,619	
合計			60,231	

4 特定財源

公立学校情報機器整備事業費補助金(国) 34,745千円
 学校ICT環境整備基金繰入金 25,400千円

款	10. 教育費	項	3. 中学校費	目	2. 教育振興費	事項別	177
事業名	江北中学校GIGAスクール整備事業					区分	継続
本年度当初予算額	28,334	本年度当初予算 財源内訳	国	15,941	(単位:千円)		
前年度当初予算額	-		県		その他	12,300	
差引増減	28,334		町債		一般財源	93	

1 事業の目的・概要

中学校において令和2年度に導入したタブレット端末を更新、WindowsからChromeへ変更。また、令和3年度に整備したネットワーク環境については、令和7年度に現状調査を実施し、その結果を踏まえて1G通信を2G通信へのアップグレードを行い、通信環境の改善を図る。既存端末は国が適切に処分を行う。

2 事業の概要

スケジュール 令和8年2月: 県の共同調達、プロポーザルにより選定業者決定
 令和8年4月: 選定業者との仮契約→令和8年6月: 議会終了後、本契約
 令和8年7月末: 端末納入・初期設定・教員の研修
 令和8年10月: 運用開始予定

3 予算内訳

(千円)

中学校	単価	台数	計	備考
端末	55	337	18,535	生徒272台、教員25台、予備機40台(6年分)
初期設定	8	337	2,696	生徒272台、教員25台、予備機40台(6年分)
小計			21,231	
その他	フィルタリングソフト		628	1,980円×317台
	GoogleGIGAライセンス		2,929	9,240円×317台
	タッチペン		1,685	5,000円×337本
	持ち帰りバッグ		643	2,277円×282個
	光ケーブル工事		363	
	既存端末の処分料		855	3,000円×285台
小計			7,103	
合計			28,334	

4 特定財源

公立学校情報機器整備事業費補助金(国) 15,941千円
 学校ICT環境整備基金 12,300千円

款	10. 教育費	項	5. 社会教育費	目	1. 社会教育総務費	事項別	179
事業名	青少年育成町民会議					区分	新規
本年度当初予算額	459	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	459		町債		一般財源		459

1 事業の目的・概要

地域住民が一体となって青少年の健全育成を推進し、心豊かな次世代の子どもたちを育む環境をつくる。

映画及び演劇等の文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保することで、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力を育む。

青少年育成町民会議イベント	期 日	場 所	内 容
(映画鑑賞) ら・かんぱねら	令和8年 5月6日(水・祝) 予定	町公民館 大ホール	<ul style="list-style-type: none"> 海苔漁師徳永義昭氏の実話に基づく映画 「挑戦するのに遅すぎることはない」というメッセージを伝える物語 監督鈴木一美氏の舞台挨拶 映画鑑賞者 100人×2回=200人
(演劇鑑賞) バリアフリー演劇 ジャンヌ・ダルク ジャンヌと炎	令和8年 11月27日(金)	ネイブル 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> 東京演劇集団「風」によるバリアフリー演劇 文化庁が実施している「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」を活用 音声ガイド及び役者が手話表現するなど多彩な演出にも注目 演劇鑑賞者 江北小全児童、江北中全生徒



2 予算内訳

(映画鑑賞)

役務費	ハガキ代(入場券送付)	17 千円
委託料	音響・会場設営	225 千円
使用料及び賃借料	著作権料	154 千円
計		396 千円

(演劇鑑賞)

報償品費	記念品代	50 千円
消耗品費	消耗品	10 千円
印刷製本費	記念写真印刷	3 千円
計		63 千円

無資力臨鉦ポンプ等維持管理事業特別会計

事業説明

[無資力臨鉦ポンプ等維持管理事業特別会計]

[地域づくり課 農業班 農地防災係]

款	1. 総務費	項	1. 総務管理費	目	1. 排水機管理費	事項別	222～226
事業名	機能保全計画策定業務（町内5排水施設）					区分	継続
本年度当初予算額	6,500	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他	6,500	
差引増減	6,500		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

(目的)

排水施設の維持管理については、特定事業者の提案に合わせた仕様で、より安価に維持管理ができるよう改造を行ってきたため、メーカー保証対応ができない設備となっている。現在、令和10年度を目標に、標準化した設備への整備(メーカー保証対応が可能)に着手しており、令和8年度は、7年度に実施した現状把握を踏まえ、機能保全計画を策定し、仕様の標準化の検討を行う。

(スケジュール)

R7	R8	R9	R10
(現状把握) 土木構造物 建築構造物 鋼構造物設備 電気設備 ポンプ設備 機械設備	(機能保全計画策定) 仕様の標準化の 検討	(詳細設計) 計画に基づく設計書 の作成	(工事) メーカー保証 対応が可能な 設備へ変更

(委託内容)

- ①資料調査・問診調査 ②健全度評価 ③機能保全計画の策定

2 予算内訳

(千円)

施設名	予算額
鳴江排水施設	1,300
城ノ井排水施設	1,300
大西排水施設	1,300

(千円)

施設名	予算額
東古川排水施設	1,300
朽木排水施設	1,300
計	6,500

3 特定財源

維持管理基金繰入金

6,500 千円

事業説明

[無資力臨鉱ポンプ等維持管理事業特別会計]

[地域づくり課 農業班 農地防災係]

款	1. 総務費	項	1. 総務管理費	目	3. 灌水機管理費	事項別	226～228
事業名	灌水機管理事業					区分	新規
本年度 当初予算額	11,000	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他	11,000	
差引増減	11,000		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

農作物の成長に必要な水を計画的に供給できる体制を整備し、干ばつ被害の防止や収穫量の安定・増加を図る。

令和7年10月に灌水施設管理者へのヒアリング・現地確認を実施したところ、経年劣化により機能が低下している設備や配管の更新や、管理用道路の側溝に堆積している土砂の対応等の必要があるため、予算を計上する。

2 予算内訳

(千円)

地区	溜池掛り	工事内容	予算額
全	全	漏水修繕工事	1,800
門前	宮原	第1送水ポンプ揚水管弁類取替工事	1,000
		第2送水ポンプ場漏水修繕工事	1,000
		PCタンク周辺整備	7,200
計			11,000

3 特定財源

維持管理基金繰入金

11,000 千円

4 その他

(江北町灌水施設)

灌水施設は、鉱害により土壌内の保有水が減少し、みかんの生育不良が発生したために設置され、果樹園の保水力低下分(減少水)を鉱害水量として、効用の回復を図っている。

No.	地区	溜池掛り	面積	送水・加圧 ポンプ	PCタンク
1	上惣	中堤	3.75 ^{ヘクタール}	1台	
2	土元	浦谷	7.88 ^{ヘクタール}	2台	
3	門前	宮原	19.03 ^{ヘクタール}	3台	4,500 ^{m³}
4	花祭	花祭上	1.89 ^{ヘクタール}	1台	
5	白木	前久保	18.57 ^{ヘクタール}	2台	
6	岳	岳貯水池	9.89 ^{ヘクタール}	1台	2,200 ^{m³}
計			61.01 ^{ヘクタール}	10台	6,700 ^{m³}

下水道事業会計

款	1. 下水道事業費用 1. 資本的支出	項	1. 営業費用 1. 建設改良費	目	1. 管渠費 1. 下水道建設改良費	事項別	306~310 314
事業名	公共下水道施設ストックマネジメント事業					区分	継続
本年度 当初予算額	123,600	本年度 財源内訳 当初予算	国	66,280	(単位:千円)		
前年度 当初予算額	78,700		県		その他	4,020	
差引増減	44,900		町債	53,300	一般財源		

1 事業の目的・概要

下水道施設の老朽化が進み、今後は維持管理費・改築費の増大が懸念されている。このことから、施設の重要度による優先順位付けを行いながら、長期的な視点で下水道施設(ストック)全体を適正かつ効率的に管理する必要がある。施設の点検・調査、修繕・改築を計画的に実施し、施設の機能確保と管理の最適化を図る。

2 予算内訳

節	予算額(千円)	主な事業内容
12.委託料	4,000	・管路点検調査業務委託 4,000千円 ⇒管口カメラ点検・マンホール蓋点検
	9,800	[江北クリーンセンター] ・汚泥貯留槽攪拌ブロワ詳細設計業務委託 2,800千円 ・水処理計装盤詳細設計業務委託 3,500千円 [東分中継ポンプ場] ・No.2し渣破碎機詳細設計業務委託 3,500千円
13.工事請負費	109,800	[江北クリーンセンター] ・汚泥脱水機改築工事 80,000千円【継続費】 ⇒総事業費 200,000千円(R8 80,000千円 R9 120,000千円) ・汚泥貯留槽攪拌ブロワ改築工事 15,000千円 ・UPS装置改築工事 8,300千円 [マンホールポンプ場] ・電気設備改築工事 6,500千円 ⇒水位計 4台(観音下1号 2台、石原1号 2台)

3 特定財源

社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)(国)	66,280 千円
公共下水道事業債(町債)	53,300 千円
他会計補助金	4,020 千円

4 主な改築予定施設



【江北クリーンセンター汚泥脱水機】



【江北クリーンセンターUPS装置】